学校番号	２１２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『詳説世界史』（山川出版社）						
副教材等	共通テスト実力トレーニング世界史（九歴協編集委員会編、啓隆社） アカデミア世界史（浜島書店編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究は古代史（人類の誕生）から世界の歴史について学習します。歴史の学習は、人名や歴史用語をただ単に丸暗記するだけではありません。もちろん、“覚える”という動作が不必要だという立場には一切たちません。“覚えなければならないこと”は多分にあると理解してください。我々が生きている社会で今まさに起こっている戦争をはじめとする世界の諸課題の原因を理解するためには各国の歴史を知り、その国の立場を理解することではじめてスタート地点に立てると思います。また、一方的な立場だけでなく複数の立場や意見を踏まえることも非常に大切です。歴史総合で学んだ「社会的な事象の歴史的な見方・考え方」を多いに活用して、学習に取り組んでください。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者地理歴史に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される公民としての自覚、自国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文明の成立と古代文明の特質	1,文明の誕生 2.古代オリエント文明とその周辺 3.南アジアの古代文明 4.中国の古代文明 5.南北アメリカ文明	a:都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質、オリエント、南アジア、中国、南北アメリカ各々の風土ならびにその風土に適合した生活を理解している。 b:文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c:文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
	中央ユーラシアと東アジア世界	1.中央ユーラシア――草原とオアシスの世界 2.秦・漢帝国 3.中国の動乱と変容 4.東アジア文化圏の形成	a:中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係や秦・漢の支配体制について理解している。隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 b:資料をもとに、中央ユーラシアの動向、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。図像資料などをもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 中央ユーラシアの動向、秦・漢帝国、魏晋南北朝、東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント

	南アジア世界と東南アジア世界の展開	1.仏教の成立と南アジアの統一国家 2.インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3.東南アジア世界の形成と展開	a:南アジアで生まれたさまざまな宗教やグプタ朝の文化がどのように発展して、南アジアの社会や周辺諸地域へどのような影響を与えたかを理解している。東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 b:地図などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。 仏教やジャイナ教が盛んだったことや東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南時ア社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c:南アジアで生まれた諸宗教、インド古典文化とヒンドゥー教について、東南アジアの諸国家について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
2学期	西アジアと地中海周辺の国家形成	1.イラン諸国家の興亡とイラン文明 2.ギリシア人の都市国家 3.ローマと地中海支配 4.キリスト教の成立と発展	a: アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家の興亡、アテネ民主政およびギリシア文化の特徴、ローマがどのような経緯で帝国に至ったのか、またローマ文化とキリスト教の関係を理解している。 b: 資料をもとに、イラン文明やギリシア文明の特徴や世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イラン文明、古代ギリシア、古代ローマ、キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント

	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	1.アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2.ヨーロッパ世界の形成	a: イスラーム教がどのように成立したか、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 b: 地図や図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イスラーム教の成立と拡大とヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
	イスラーム教の伝播と西アジアの動向	1.イスラーム教の諸地域への伝播 2.西アジアの動向	a:中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 b:資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割やトルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している c:イスラーム教の各地への伝播や変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント

	ヨーロッパ世界の変容と展開	1.西ヨーロッパの封建社会とその展開 2.東ヨーロッパ世界の展開 3.西ヨーロッパ世界の変容 4.西ヨーロッパの中世文化	a: 中世西ヨーロッパ封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家の伸長の過程、ビザンツ帝国の衰退の過程や商業の活動状況とその特徴を理解している。 b:図像資料や地図をもとに、西ヨーロッパ中世文化や十字軍が西ヨーロッパに与えた影響やビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。また、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。 c:中世の西ヨーロッパやビザンツ帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
	東アジア世界の展開とモンゴル帝国	1.アジア諸地域の自立化と宋 2.モンゴルの大帝国	a:10～12 世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の各地域の交流を踏まえながら理解している。また、モンゴル帝国の成立と支配、各地域への影響を理解している。 b:図像資料や地図、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化やモンゴル帝国の成立世界史的な意義多面的・多角的に考察し表現している。 c:10～12 世紀の東アジア、モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
3学期	大交易・大交流の時代	1.アジア交易世界の興隆 2.ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	a:ヨーロッパの海洋進出による「世界の一体化」の背景や動議、アジアの状況について理解している。 b:図像資料や地図をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流やヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:アジア交易世界およびヨーロッパの海洋進出について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント

	アジアの諸帝国の繁栄	1.オスマン帝国とサファヴィー朝 2.ムガル帝国の興隆 3.清代の中国と隣接諸地域	a:オスマン帝国をはじめイスラーム系王朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。また、清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 b:イスラーム系王朝を比較した上でそれぞれの特徴や両者の関係や清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 c:オスマン帝国などイスラーム系王朝や清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント
	近世ヨーロッパ世界の動向	1.ルネサンス 2.宗教改革 3.主権国家体制の成立 4.オランダ・イギリス・フランスの台頭 5.北欧・東欧の動向 6.科学革命と啓蒙思想	a:ルネサンス、宗教改革、主権国家体制、科学革命の特徴とそれが後世に与えた影響を理解している。 b:地図や図像資料を用いて、主権国家と呼ばれる各国の特徴やその違いを多面的・多角的に考察し表現している。 c:ルネサンス期から啓蒙思想の広がりまで、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	成果物 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度